

基本目標Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツの推進

1 白崎資金スポーツ振興事業

➤ スポーツ指導者養成

- ・指導者の資質向上を図るための実技講習や講演会等の開催を（公財）酒田市体育協会へ委託している。2月19日に「現場で役立つテーピング講習」という内容で指導者講習会の開催を予定していたが、庄内地域における「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、開催中止となった（3月中旬に代替の講習会を開催予定）。

➤ スポーツ優秀選手表彰

- ・今年度は8競技76名（小学生：県大会75名、中学生：東北大会1名）を表彰者として決定。2月18日に（公財）酒田市体育協会と合同で表彰式を開催する方向で調整を図ってきたが、庄内地域における「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、開催を中止した。
- ・昨年度の表彰者数は小学生19名（県大会）だったが、今年度は全国・東北大会が徐々に再開され、地区・県レベルの大会も例年ペースで開催されてきたことが受賞者の増加に繋がったと考える。

2 スポーツ振興激励金交付事業

- ・大会参加における選手のモチベーションの維持や市民のスポーツへの関心を高めるため、全国大会等上位大会へ出場する選手・チーム等へ激励金等を交付した（令和3年度交付実績（R4.2.14現在）：110名・445千円）。

3 （公財）酒田市体育協会

- ・競技団体及び選手の育成強化、スポーツ指導者の育成・資質向上、スポーツ教室開催等による競技者の拡大・普及における事業を展開している、（公財）酒田市体育協会の強化事業に対して補助金を交付した。

4 山形県縦断駅伝競走大会・女子駅伝競走大会

- ・第65回山形県縦断駅伝競走大会（4/27～29）が2年ぶりに開催された。昨年度の大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされたが、今年度は感染予防対策を徹底しての開催の運びとなった。酒田飽海チームは、地元出身の大学生や社会人選手を中心に、レース序盤から好調な走りをキープし続け、総合2位となった。また、同じく2年ぶりの開催となった第37回山形県女子駅伝競走大会（11/21）では、酒田飽海チームは第4位となった。

5 酒田市体育大会

- ・広く市民にスポーツの実践の機会を与えるとともに、健康維持増進とスポーツの普及に繋げることを目的とし、各競技団体が主管となって開催しているもの。今年度は18種目の大会が5月を主会期に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

6 地元企業、地域密着型プロスポーツとの連携

- プレステージ・インターナショナル アランマーレ
- ・酒田市を拠点とし、「V・LEAGUE（リーグ）」の女子2部リーグに参戦している「アランマーレ山形」について、酒田市、（公財）酒田市体育協会、アランマーレが所属する（株）プレステージ・インターナショナルの三者で締結している相互支援協定をもとに、練習会場の確保やホームゲームの開催周知等、支援・協力を行っている。
- ・現在開催中の2021-22 V.LEAGUE DIVISION2 WOMEN で、アランマーレは10チーム中暫定1位となっている（R4.2.9現在）。
- モンテディオ山形
- ・J2リーグ所属の「モンテディオ山形」について、ホームゲーム開催に合わせて「酒田市応援デー」（本市在勤・在住の方を対象にバックスタンド自由席の観戦チケットを特別価格で販売）を2回実施した。
- ・令和3年度から実施された「モンテディオ山形35市町村アンバサダープロジェクト」により、アンバサダー選手が県内各市町村に2名ずつ配置されたため、本市では「酒田市応援デー」のPRに活用した。

7 大会補助事業

- ・酒田市を会場に開催される高レベルの競技大会に補助金を交付し、開催を支援した。
- 第54回全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会（9月）
市国体記念体育館を会場に無観客で開催された。東京2020オリンピック、リオオリンピックに出場した選手たちも多数出場し、10月に福岡県で開催された世界選手権大会の前哨戦としても注目を浴びる大会となった。
- 東北総合体育大会相撲競技（8月）
市相撲場を会場にして開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大会直前で中止が決定された（国民体育大会（三重とこわか国体）も開催中止）。
- 全庄内スキー選手権大会（2月）
市松山スキー場を会場にして開催予定だったが、庄内地域における「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、開催中止となった（開催中止は3年連続）。